

副専攻名 地域プランニング[基礎]			
副専攻のCP(カリキュラム編成方針)			
地域が持つ固有の環境特性を把握し、その地域の人口や産業、歴史、伝統、文化などの資源を発掘して地域を活性化するために役立て、住民参加を通じて地域の将来ビジョンを立案する基礎を学ぶ。			
副専攻の学修成果			
地域が持つ固有の環境特性を理解し、その地域の人口や産業、歴史、伝統、文化などの資源を生かしながら、住民と協同して地域の将来ビジョンを立案する手法を身につける。			
副専攻を構成する科目			
科目番号	授業科目名	学生の学修目標	学年
35800	地域学原論	地域学の目的や構成、地域に対するアプローチを初めとして、地域や空間、環境に対する見方・考え方や、成果・課題を理解する。	2
35801	地域計画論 I	<ul style="list-style-type: none"> ・日本と世界の地域開発政策や国土開発政策の趨勢を学ぶ。 ・地域計画が策定された当時の地域間格差など経済状況と計画の目標とを関連させて理解する俯瞰的な視点を獲得させる。 ・計画目標と現実との乖離を批判的に検討する視点を養う。 	2
35802	地域計画論 II		2
35805	地域居住論	地域生活と居住環境の相互関係の基礎的構造を理解し、居住環境の現状と課題を理解する。	2
35806	景観論	景観の制度、景観政策、課題について理解し、地域環境を景観の視点で評価する視点を習得する。	2
35815	人口地理学 I	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少社会に突入した日本の人口問題について理解する。 ・都市や農村などそれぞれの地域が抱える人口問題の特性について理解する。 ・人口分析のための基本的な技能を習得する。 	2
35816	人口地理学 II		2
35817	都市地理学A	都市地理学という学問分野の特徴、空間(や地域、環境)としての都市の概念、都市空間に対する様々な研究方法とその成果や課題を理解する。	2~3
35818	都市地理学B	都市地理学という学問分野の特徴、空間(や地域、環境)としての都市の概念、都市空間に対する様々な研究方法とその成果や課題を理解する。	2~3
35819	農村地理学	農村地理学の基礎的知識を習得し、農村における生業や産業、慣習などの具体的な社会経済的現象を、「空間」および「スケール」という概念をキーに総合的・系統的に理解する能力を身につける。	2~3
35807	地域スポーツ論 I	“我が国の地域におけるスポーツの現状を住民の視点から理解する。 生涯スポーツ社会の実現について、中央政府と地方政府の政策から理解する。”	2
35808	地域スポーツ論 II	地域スポーツ経営学の基礎理論及び地域スポーツの現状と現代的課題を理解する。	2

副専攻名 地域プランニング[基礎]			
副専攻のCP(カリキュラム編成方針)			
地域が持つ固有の環境特性を把握し、その地域の人口や産業、歴史、伝統、文化などの資源を発掘して地域を活性化するために役立て、住民参加を通じて地域の将来ビジョンを立案する基礎を学ぶ。			
副専攻の学修成果			
地域が持つ固有の環境特性を理解し、その地域の人口や産業、歴史、伝統、文化などの資源を生かしながら、住民と協同して地域の将来ビジョンを立案する手法を身につける。			
副専攻を構成する科目			
科目番号	授業科目名	学生の学修目標	学年
35850	地域政策論A I	地域政策について、政治学・政策学的観点から体系的に理解することができる。	2
35851	地域政策論A II		2

※開講期については年度により異なる場合があるため、履修を希望する年度の授業時間割表で確認すること。
<https://jinsha-gakusei.w3.kanazawa-u.ac.jp/cm/timetable/>